

都道府県名	佐賀県
-------	-----

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	諸富町立諸富中学校					
学 年	1 年	2 年	3 年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	4	3	0	10	22
生徒数	106	134	112	0	352	

研究の概要

1. 研究主題

たくましく生き抜く力を育てる教育の研究と実践
 ～確かな学力を保障し、できた喜びや達成感を味わわせる指導の研究～

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

全学年・全教科で3部会を結成し、それぞれで研究を進める。

少人数学習部会
 基礎学力の定着と個々に応じた課題解決能力の育成のため、国語・英語・数学の3教科で少人数学習を行うこととした。全学年で実施することは時間割や教員数の都合で不可能なので、それぞれ1学年1教科の少人数学習に取り組む。

- ・1年生：英語 入門期からの少人数学習の効果が期待されるため。
- ・2年生：国語 多様な考えを持ち始めた時期の少人数学習の効果が期待されるため。
- ・3年生：数学 実態としてすでにかかなりの能力の開きが見られ、習熟度別学習の効果が期待されるため。

理社部会
 理科と社会科でチームを組み、基礎学力の定着を図るとともに実社会に役立つ思考力・判断力を育成するために、指導法の研究を行う。

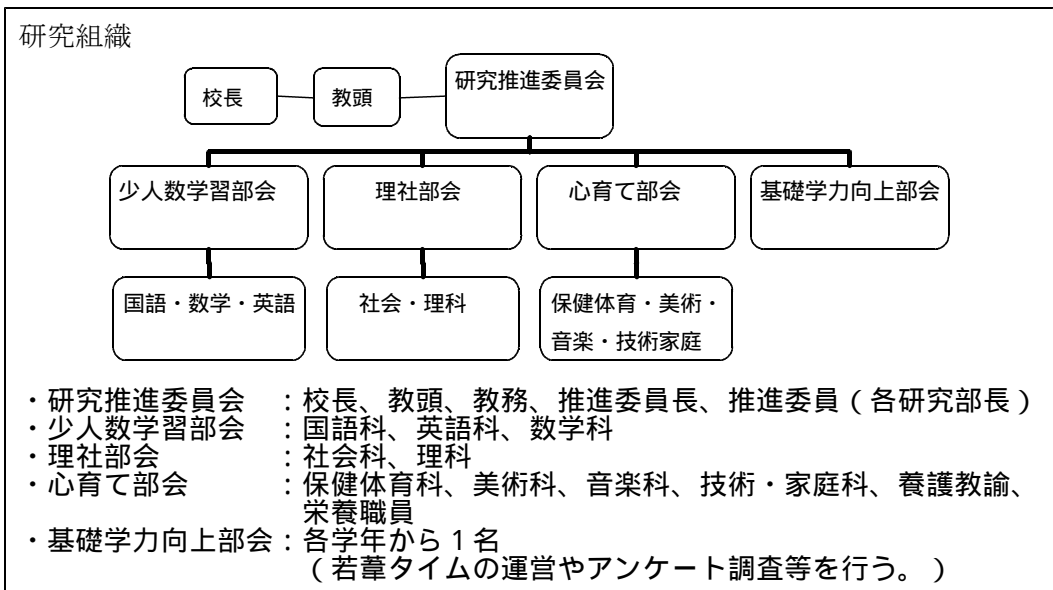
心育て部会
 音楽科、美術科、保健体育科、技術・家庭科、栄養職員、養護教諭でチームを組み、基礎学力の土台となる健康な心と身体の育成を目指して、実践を行う。

(2) 年次ごとの計画

平成15年度	<p>テーマ たくましく生き抜く力を育てる教育の研究と実践 ～確かな学力を保障し、できた喜びや達成感を味わわせる指導の研究～</p> <p>研究の見通し 多くの課題に直面したとき、それを克服する力を育成することが本校の生徒の最重要課題だと考え、そのための方策として、基礎学力向上のための指導法の改善 できた喜び・達成感を味わわせる課題解決学習の工夫の2点に力を入れることとする。「確かな学力」を保障しつつ、「できた喜び」や「達成感」を味わわせる指導法の研究を全教科で進め、生徒一人一人の学ぶ喜びに満ちた笑顔を見ることを最終目標とする。</p> <p>研究の内容・方法 ア 授業の改善及び授業研究会の実施 イ 個に応じた指導の工夫 ウ 学習意欲向上のための取組 エ 地域との連携及び小・中連携（連携小学校：諸富北・諸富南小学校）</p>
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

平成16年度	<p>テーマ たくましく生き抜く力を育てる教育の研究と実践 ～確かな学力を保障し、できた喜びや達成感を味わわせる指導の研究～</p> <p>研究の見通し 基礎学力向上のための指導法の改善 できた喜び・達成感を味わわせる課題解決学習の工夫の2点に力を入れることは継続する。それに加えより多くの客観的データや資料を得るための方策を各部会で検討する。</p> <p>研究の内容・方法 前年度と同じ内容・方法で取り組み、それぞれの研究をより深く進め、成果を上げるようにしたい。特に、教師全員による研究授業の実施や成果の目に見えるのデータ取りには、引き続き力を入れたい。</p>
--------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

- (1) 教師全員が一人一度は研究授業をするという試みは、次の点で大きな成果を得たと言える。
 研究授業をすることで、各研究部会の研究の内容や流れを各自がより深く把握し、テーマに沿った授業を進めることができた。
 正式な学習指導案を書くことで、授業を進める上での大切なポイントを押さえることができ、指導の力量が高まった。
 自分の教科のみでなく他教科の授業を参観することで、他教科の研究の内容が分かり、自分の教科との共通点や独自性等についての理解が深まった。
 また、生徒の違った面を知ることができ、生徒理解に役立った。
 授業研究会では、それぞれの授業についてお互いの意見を交換しあい、研究がより深まった。
 公開授業研究会や学校訪問授業研究会では、外部から参観者や助言者を得ることで、新しい視点での協議をすることができ、これからの研究に大きな示唆が得られた。
- (2) 少人数学習部会では、「個々に応じた課題解決への意欲を育てよう」をテーマに、1年英語では等質、2年国語では興味・関心別、3年数学では習熟度別に1クラスを2コースに分け、研究に取り組んだ。それぞれの特色に応じた授業を工夫することができ、質問や発表のしやすい雰囲気作りができた。一斉授業では見られない生徒の積極的な姿が目立ち、少人数指導の効果を実感している。少人数学習についてのアンケートの結果、生徒にも大変好評であった。また、全学年で行われた佐賀郡全体の到達度調査の結果では、少人数学習に取り

組んでいる1年英語・2年国語・3年数学で数値的に成績が上がり、効果が上がっていることがわかった。

(3) 理社部会では、「実社会に役立つ思考力・判断力を育てよう」をテーマに取り組み、全員が研究授業をして、協議しながら研究を進めることで、教師側の細かい教材分析ができた。授業の中に、生徒の主体的な活動(実験・観察・ものづくりや資料活用)を取り入れる工夫を常に考えられるようになった。生徒が目標(課題)を持って活動する場面が増え、生徒の授業に対する興味・関心が更に高まった。

(4) 心育て部会では、「健康な心と身体を育てよう」をテーマに、学力向上の土台を支える部会として、道徳・学活を中心に、食の指導や学ぶことの意義を考えさせる授業に取り組んだ。食の指導や道徳・学活の授業を通して、生徒たちは身体の健康のみならず、心の健康についても深く考えることができた。また学ぶことの意義を考える授業では、級友の頑張っている姿に学ぶことで、これからの自分の学習活動に意欲的に取り組む態度の育成を図った。

2. 今後の課題

(1) 学力向上の面で、教師側が把握している研究の成果を、外部に対していかにわかりやすく示すか(数値化するなど)の方策をこれからの研究で考えていく必要がある。

(2) 少人数学習部会では、それぞれの教科の特性に応じたコース分けの研究をより詳しく行うとともに、コースに応じた教材や評価の工夫を今後も進めていく必要がある。

(3) 理社部会では、基礎・基本の定着のための簡潔な復習・予習プリントを作成していく必要がある。

(4) 心育て部会では、育てたい力の一本化を図ることで研究を焦点化し、全教科で共通理解のもとに研究を進めていく必要がある。

学力把握のための学校としての取組

(1) 若輩テスト：毎日帰りの会前に15分間、国・英・数のドリル学習を行い、学期に一度まとめテストをした。国語は漢字、英語は単語、数学は計算の50点満点のテストを行い、いずれも7～8割の正答率が得られた。

(2) 到達度調査：佐賀郡作成の到達度調査を1・2年生では1月に、3年生では9月と11月に5教科で行い、分析した。特に、少人数学習を行っている教科では、成果が上がっていることが分かった。

(3) 全国標準学力テスト：2月末に1・2年生で行い、本校生徒の到達度を客観的にみる資料とする予定である。

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

(1) 第1回公開授業研究会開催(10月10日(金))：教員や保護者、地域住民など参加者約120名。部会ごとに研究授業及び研究会をもった。

(2) 第2回公開授業研究会開催(2月6日(金))：教員や保護者、地域住民など参加者約50名。部会ごとに研究授業及び研究会をもった。

(3) 諸富町教育振興会の研究発表会(10月29日(水))において、研究の概要を発表した。

(4) 諸富町教育振興会の冊子に研究のまとめを掲載し、地域に研究を知らせた。



- 【新規校・継続校】 15年度からの新規校 14年度からの継続校
- 【学校規模】 3学級以下 4～6学級
 7～9学級 10～12学級
 13～15学級 16学級以上
- 【指導体制】 少人数指導 T Tによる指導
 その他
- 【研究教科】 国語 社会 数学 理科
 外国語 音楽 美術 技術・家庭
 保健体育 その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無